

# 暮らしの足を支えるために

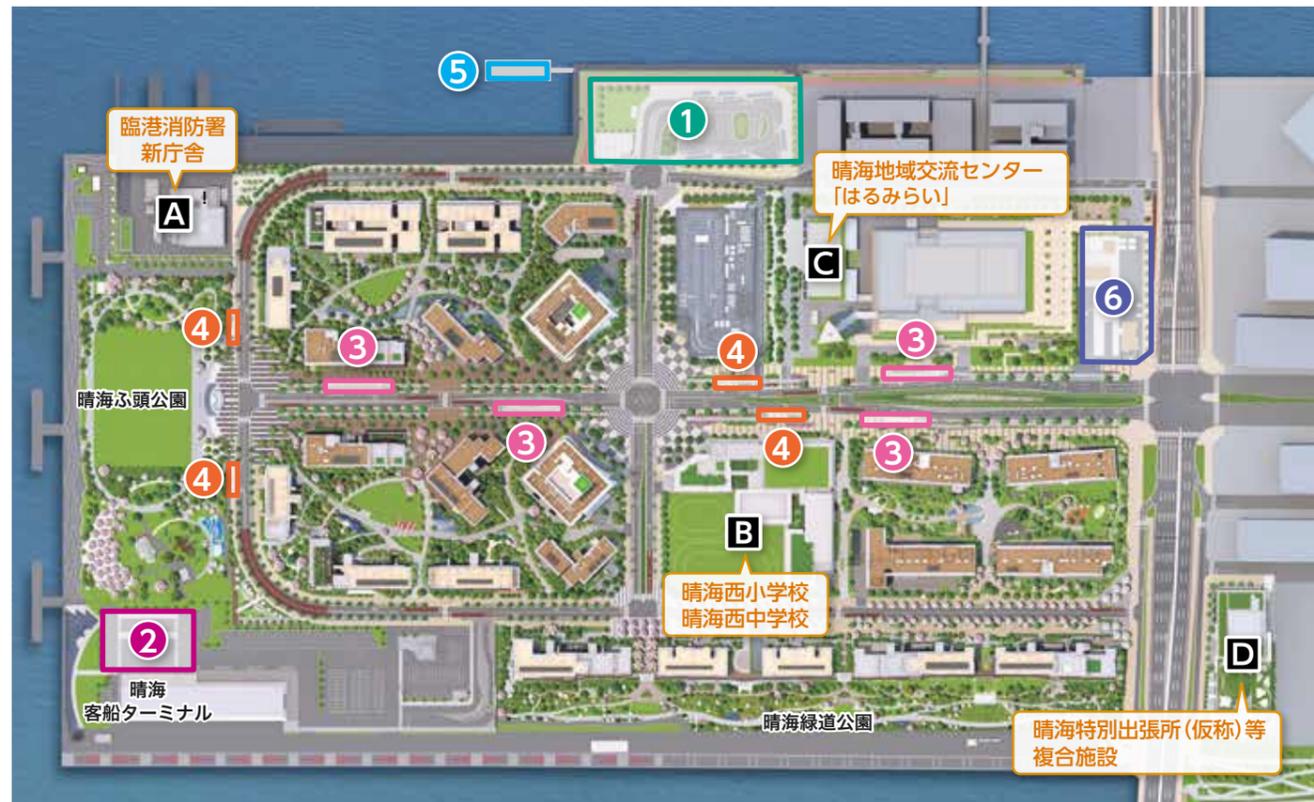
## 晴海地域の交通について

晴海地域は、大会後の新たなまちづくり等により、今後、交通需要の増加が見込まれます。暮らしの足を支えるため、晴海五丁目西地区内に東京BRTや路線バスの新たな停留所を設けるとともに、マルチモビリティステーション(複合的な交通広場)や船着場を整備していきます。



## 晴海五丁目の交通施設等

都営バスの運行を継続しながら、東京BRT導入に必要な交通施設を整備して、まちびらき後の交通需要の増加に対応していきます。



晴海客船ターミナルは、現時点の計画イメージであり、変更となる可能性があります。 ※令和5(2023)年時点

### 凡例

- ① マルチモビリティステーション (東京BRT、路線バス、コミュニティサイクル)
- ② 晴海客船ターミナル都営バス折返し所
- ③ 東京BRT 停留施設
- ④ 路線バス停留施設
- ⑤ 船着場
- ⑥ 水素ステーション

### ●東京BRT

東京の臨海地域における交通需要の増加に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として、都心と臨海地域とを結びます。運行ルート等の詳細は、東京都都市整備局ホームページ(都心と臨海地域とを結ぶ東京BRTについて)をご覧ください。



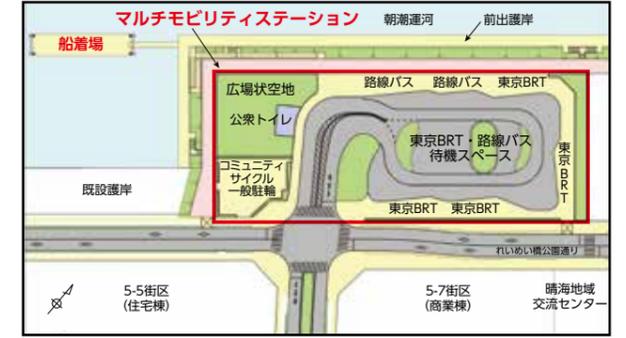
## マルチモビリティステーション・船着場の整備

東京BRTをはじめ、路線バスや、コミュニティサイクルを導入できる複合的なターミナルとしてマルチモビリティステーションを整備します。

また、水辺の立地を生かして、バリアフリーにも配慮した船着場を一体的に整備します。



完成予想イメージ(令和3年12月時点)



配置のイメージ

## コラム

### 周辺施設の案内

#### A 臨港消防署 新庁舎

臨港消防署の本庁舎が新設され、令和元年7月1日より、運用が開始されております。新庁舎は、屋上にヘリポートを持つ、地上5階建ての建物で、船舶災害や重要な港湾施設に対応できる消防力を備えています。  
問合せ先：東京消防庁臨港消防署 03-3534-0119



#### B 晴海西小学校・晴海西中学校

令和6年度開校予定

「学びの場としての学校」、「まちの拠点としての学校」、「地域とともに成長する学校」の3つの視点から新しいまちの象徴となる学校づくりを推進しています。



完成イメージ(令和4年9月時点)

#### C 晴海地域交流センター「はるみらい」

令和5年度開設予定

地域における自主的な交流を促進するとともに、地域課題を解決するため、ほっとプラザはるみをリニューアルし、地域住民等が連携して行う地域活動の総合的な拠点として晴海地域交流センターが開設されます。



完成イメージ(令和4年9月時点)

#### D 晴海特別出張所(仮称)等複合施設

令和6年度開設予定

中央区では、子育て支援、教育・文化行政サービス等の機能を効果的に集約した特別出張所・おとしより相談センター・保健センター・図書館・認定こども園で構成される複合施設の整備が計画されています。



完成イメージ(令和4年9月時点)